

グローバル時代における日中大学の国際化に関する福岡宣言

第9回日中大学長会議

2015年10月29日

このたび、日中両国の大学の学長をはじめとする代表が、2015年10月29日に九州大学に参集し、「グローバル時代における日中大学の国際化」のテーマの下に、アジアを牽引する日中両国の大学が果たすべき役割について討議を行い、今後の日中両国の大学連携のあり方について認識を共有した。

本会議においては、グローバル社会が進展するなかで、大学の国際化による社会貢献のあり方を再確認し、いくつかの事例を共有しつつ、日中の大学の国際化推進の意味と具体的方策を議論した。

また、研究者や学生の流動化の急速な進展に伴い、大学間の国際的な競争が激化する中、国境を越えた大学連携により、教育研究の国際競争力の強化を企図する傾向が顕著となっていることを再認識した。その上で、日中の大学が協働により、今後の学術研究をリードする次世代人材を育成し、世界の学術の発展に大きく寄与する意義と効果を議論し、両国の高等教育、科学技術の発展に資する日中協働のあり方を提起した。

さらには、日中両国の大学からの代表学生32名および九州大学国際化学生委員会メンバーが参集し、両国の大学の国際化の必要性と学生が果たすべき役割について意見交換し、学生が描く次世代の国際交流のあり方について提起された。

大学は、教育および研究の国際性を意識し、これからの若い世代がグローバルに活躍できるように貢献していくことが、高等教育コミュニティの責任のひとつであると認識を新たにした。これまでの成果を踏まえ、次の事項のような更なる協働が重要であると考え、ここに、日中両国の大学による協力・連携の促進と具体的アクションを宣言する。

1. グローバル社会に重要な課題解決に向けた、学際的な共同研究プロジェクトと学際的教育連携の推進
2. 日中間の産学連携の推進
3. 世界で活躍するグローバル・スキルを備えた人材育成のための教育研究連携、並びに教育リソースの活用
4. 学生の視点を重視した、短期・長期の教育連携プログラムづくりの推進

日本側参加大学：

東京大学（日本側幹事校、以下アルファベット順）、愛知大学、中央大学、広島大学、一橋大学、北海道大学、慶應義塾大学、神戸大学、京都大学、九州大学、名古屋大学、大阪大学、立命館大学、東北大学、東京工業大学、筑波大学、早稲田大学、長崎大学（オブザーブ参加）

中国側参加大学：

北京大学（中国側幹事校、以下アルファベット順）、北京航空航天大学、北京師範大学、大連理工大学、復旦大学、ハルビン工業大学、華中科技大学、吉林大学、南京大学、南開大学、東北大学、上海交通大学、四川大学、厦門大学、西安交通大学、新疆大学、中山大学（オブザーブ参加）